

科目名	英語 4				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2023 年度 後期	単位数	2		
担当教員	若林 達司				
内容および計画	<p>教養基礎科目における英語科目の設計について</p> <p>会津大学短期大学部教養基礎科目の国際コミュニケーションカテゴリーには、英会話やフランス語の他に英語科目が4つ設置されています。まずはそれらの内容の違いを理解した上で英語科目の履修計画を立ててください。</p> <p>「英語Ⅰ」はリーディングスキルを修得するための授業です。簡単に言えば文章読解ですが、単語や熟語の意味を調べ、文の意味を和訳するという英語文章の基礎的作業に留まりません。キーセンテンスを軸にした段落の内容を掴んだり、接続詞マーカールを見抜いたり、事実と意見の部分に分けて理解するなど大学以上で求められる知的な読解術を学びます。</p> <p>「英語Ⅱ」は発展的な文法の授業です。高校や受験で勉強した文法の知識をもとに、精確かつスピーディーな英文解釈ができることを目指して英語の文の構造を理解します。</p> <p>「英語Ⅲ」はリスニングトレーニングを行うための授業です。リスニングの基礎になる発音練習も同時に行いつつ、英語独特の聞き取りにくさを理解します。</p> <p>「英語Ⅳ」は発音練習に特化した授業という位置づけです。学生は英語発音の基本である子音と母音のメカニズムを知り、さらに発展的に音声の脱落や短縮などの日常的に用いられる発音方法を学びます。</p> <p>英語Ⅳ 発音練習</p> <p>正しい発音を身につけること。この授業の目的はこの一言に尽きます。正しい発音を身につけることのメリットは正確なリスニング力につながります。自分が発音できていない言葉（単語や文）はリスニングできないのが常です。したがって、受講生のみなさんはこの授業のすぐ先に、リスニング力の向上があると期待してください。実際の授業では英語発音のトレーニングが主な活動内容となります。以下授業計画にあるように、発音記号をベースに多くの単語の発音をこまめに練習します。授業ではしっかり声を出して発音してみてください。担当教員はその学生の発音をチェックします。スピーチ（発話）のクリニック（診療所）というつもりでこの授業に臨んでいただけると嬉しく思います。</p>				
1	授業ガイダンス 発音トレーニングの効果について				
2	子音の発音 1 閉鎖音				
3	子音の発音 2 摩擦音				
4	子音の発音 3 破擦音				
5	子音の発音 4 鼻音				
6	子音の発音 5 側音、半母音				
7	母音の発音 1 短母音				
8	母音の発音 2 長母音				
9	母音の発音 3 強母音と弱母音				
10	母音の発音 4 二重母音				
11	短縮形の発音練習				
12	音声変化 1 脱落の練習				
13	音声変化 2 連結の練習				
14	音声変化 3 同化の練習				
15	子音連続の発音練習				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	テキストは教員が準備します				

参考書	単語の意味がいつでも調べられるように、辞書、電子辞書、パソコン等のツールを授業に持ってきてください。	
成績評価		
	評価方法	割合(%)
	授業中に行う発音チェック	70
	授業で行う小テスト	30
上手な発音ができるようになると、英語学習のモチベーションが高まります。がんばりましょう！		
学習到達目標	<p>英語4の到達目標</p> <p>基礎事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) それぞれの子音発音のメカニズムを説明することができる (2) それぞれの子音を含む単語の発音ができる (3) それぞれの母音発音のメカニズムを説明することができる (4) それぞれの母音を含む発音ができる <p>応用事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 短縮を含む発音ができる (2) 音声変化のメカニズム(脱落、同化)を説明でき、その発音ができる (3) 連続した子音の発音ができる (4) 弱音化した音声の発音ができる 	
先修条件	<p>特に設けませんが、徹底して発音トレーニングを行う授業であることを理解したうえで履修してください。</p> <p>リーディングや文法など、他の英語科目と併せて履修することをお勧めします。</p> <p>「英語Ⅰ」は前期のみ設定、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」は後期のみを設定しています。ⅠからⅣの数字は授業の目標と内容の違いを示すものです。難易度やレベルの差を示したものではありません。各学科の卒業要件に沿って必要な単位数を確保できるように時間割の編成をしてください。</p>	
実務経験		
その他	学生はインターネットをはじめとしたメディアを利用して様々な方法で問題解決に臨んでください。	